

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、26～28℃台を示し、平年並みの水温でした。

## 〔漁況概要〕（令和元年8月15日～8月21日）

- 中小型まき網——西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり6トンの水揚げで、前週の1.2倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週の71%（前年並み）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり1kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり7kgの水揚げで、前週の8%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり30kgの水揚げで、前週の46%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり89kgの水揚げで、前週の4%（前年を下回った）。
- 定置網——五島有川地区では、ニザダイなどが1日1統当たり169kgの水揚げ。北松生月地区では、12日より漁が再開されシイラなどが1日1統当たり961kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり281kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヤズなどが1日1統当たり194kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり12kgの水揚げで、前週の2.4倍（前年を下回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり21kgの水揚げで前週並み（前年を上回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

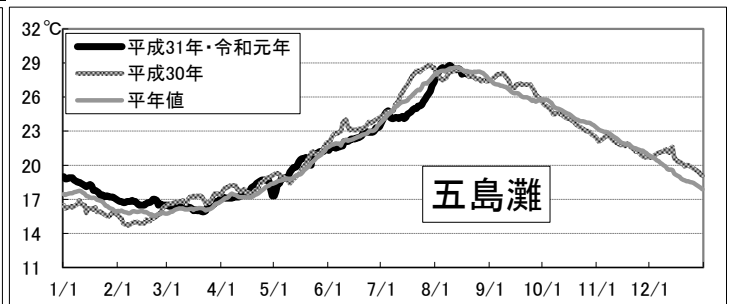
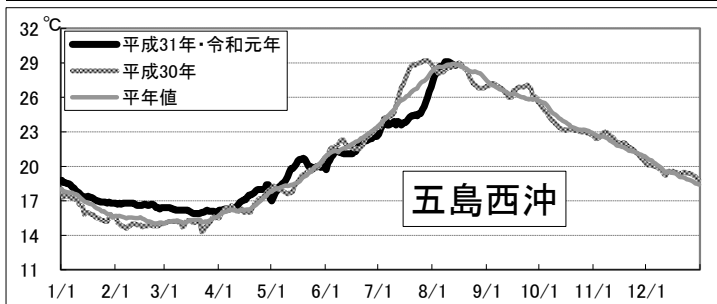
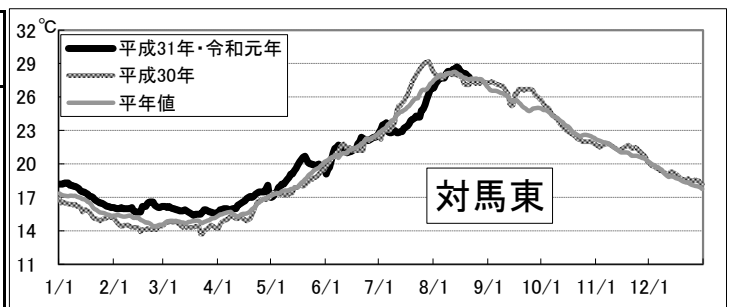
今期（8/8日～8/19日の12日間）沖合イカ釣り船、船凍船は、全船が出漁（北太平洋中央部付近で操業、日本海は佐渡周辺及び大和堆付近に出漁船あり）。沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～佐渡沖～山形沖にかけて出漁した。（漁業情報サービスセンターより）

## 〔海面水温情報〕 MGDSSST（人工衛星水温） [気象庁発表] より

令和元年8月15日～令和元年8月21日の平均水温

※人工衛星水温から下記定点水温を抜粋。

	水温	前週差	平年差
対馬東	28.1℃	-0.2℃	0.4℃
五島西沖	29.0℃	0.7℃	0.1℃
五島灘	28.1℃	-0.5℃	-0.2℃



## 〔お知らせ〕

漁海況通信「第31-24号 小トビ（トビウオ未成魚）飛翔目調査結果」を長崎県庁ホームページに掲載しています。長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧ください。 <https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>